

一般質問

12名通告順

旧報徳銀行の今後の活用について尋ねる(一問一答)

中村 博美 議員



質問

市民の広場に建物をつくらないのであれば、旧報徳銀行の耐震化工事に一日も早く取り組むべきである。開館時は、若者から高齢者まで集まれる場所になっていたと思う。そこで、市民の広場の向かい側になる建物として、旧報徳銀行を一日も早く使用できるよう開館をし、市民が集えるようにしてほしいが、どのように計画しているか。

答弁(産業労働部長)

耐震改修工事を行うか取り壊すか、現時点では結論に至っていない。

質問

東日本大震災の影響は。

答弁(産業労働部長)

外壁のひびと内壁の一部が落ちた。

質問

震災前に内壁が落ちてくるということで使用禁止になったと思うが、その時からにも検討していないのか尋ねる。

答弁(産業労働部長)

震災後に市長、関係課と協議したが、結論には至っていない。

質問

旧報徳銀行の活用について市長に尋ねる。

答弁(市長)

財政状況を慎重に検討しながら、歴史的な価値、市民の広場との一体化という二つの意味で活用し、保存する方向を考えていきたい。

質問

財源について何か努力をしていくものがあるか尋ねる。

答弁(市長)

市街地にぎわい再生事業の中で予算を使えないか検討したが使えなかった。

質問

改修するとしたら財源は市の持ち出ししかないのか尋ねる。

答弁(市長)

補助がつく可能性が非常に少なく、補助がつかなければ市が単独で出すという方向になる。

質問

今後の努力に期待する。

(その他の質問)

○きぬ総合公園の整備について尋ねる。



旧報徳銀行水海道支店

学校教育について

(総括質問・一問一答)

石川 栄子 議員

質問

子ども達に目が届くようにとの思いから、35人学級の実現を



求めたい。本来は国が進めるべきだが、市としてできないか検討

討をお願いしたい。また、学校給食におけるアレルギー対策について、本市としてはどのような対応をしているのか。

答弁(教育長)

市単独による35人学級の導入は困難である。今後関係機関に要望を続けていきたい。

答弁(教育部長)

献立表や給食センターからの通知書を学校を通じ保護者に確認していただき、原因食品を除外して食べるよう指導したり、献立によっては除去食を持参してもらっている。

質問

35人学級実現を求め、国に対し教育委員会、市長からも声を上げていく必要があると思うかどうか。

答弁(教育長)

県、市町村で要望を継続している。

答弁(市長)

国に強く要望していく。

質問

アレルギー対策として、今後どのようなことを考えているか。

答弁(給食センター所長)

近隣の調査研究をしていく。

質問

早い時期に除去食を提供でき



豊岡学校給食センター

るよう検討をお願いしたい。

答弁（給食センター所長）

2 献立でもう片方を出すとい
うようなことも含め検討したい。

質問

業務を委託しているからでき
ないということはないと思うが
どうか。

答弁（給食センター所長）

業務委託との関係はないが、
施設や器具類の関係もあるので、
これから検討したい。

質問

いつごろまでに実現してもら
えるのか。

答弁（給食センター所長）

委託業者とも相談しながら進
めていく。

〈その他の質問〉

○市営住宅について

公共下水道の工事推進を図る
ため、予算化と工事の分散化
区域の見直しについて
（二問一答）

中村 安雄 議員



質問

下水道事業の
進捗状況が当初
の計画からだい
ぶ遅れている。

答弁（都市建設部長）

今後の推進計画については、
進捗状況を精査し、効率的な費

用配分を図っていく。工事の分
散化については、工事内容、現
場条件を考慮し、発注方法等を
検討していく。区域の見直しは
補助事業対象の事業認可期間の
更新と合わせ、地域性を考慮し
本年度中に区域拡大ができるよ
う検討していく。

質問

事業認可期間が切れてしま
うと次の事業には補助金が出ない
ということか。

答弁（下水道課長）

期限が切れると事業ができな
いので更新をする。

質問

下水道の処理場区域からは強
い要望がある。要望にこたえて
もらえるのか。

答弁（下水道課長）

事業効果、地域住民の理解や
関心度を判断材料にして区域を
選定していきたい。

質問

期待にこたえられるよう努力
していただきたい。

〈その他の質問〉

○市税の評価額と課税額について

滞納税の徴収強化による収納率
の向上、茨城租税債権管理機構
による滞納整理状況

答弁（企画部長）

総合計画審議会より慎重に検
討すべきとの答申を受け、予算
計上を見送った。今後は市民ア
ンケートを実施し、過半数が運



質問

昨年の12月議
会で、平成26年
4月にコミュニ
ティバスを導入

当市における公共交通の継続
と発展について問う
（二問一答）

遠藤 章江 議員



水海道浄化センター

行すべきとなれば、12月議会に調査委託費を予算計上したい。バスの運行開始は最短でも平成27年1月を目途に考えている。

質問

今後行うアンケートは対象者をどのように抽出するのか。

答弁(企画課長)

各地区ごとの無作為抽出を考えている。

質問

福祉タクシール券、乗り合い交通、コミュニティバスの3つをやれるのか。

答弁(市長)

見直しをしながら実施する。

質問

土浦市でNPO法人が運営しているキララちゃんバスを知っているか。今まで何を検討してきたのか。

答弁(企画課長)

3つの交通をうまく運行できるかを調査したいと考えていた。

質問

鉄道に関し、常総市の発展と合わせどう考えているか。

答弁(市長)

常総線の一層の活用が現実的で、民間と自治体を合わせた中で、より具体的で現実的な方法を優先させていきたい。

質問

アンケート調査のやり方を見直す考えはないのか。その結果はきちんと解析されるのか。

答弁(企画課長)

十分に検討した結果なので、実施したい。地区別や年齢別にクロス評価していきたい。

質問

コミュニティバスを1日でも早く走らせていただきたい。

(その他の質問)

○圏央道水海道インターチェンジ(仮称)周辺の開発について



常総市内の「空き家」に対する現状と今後の対策を問う(総括質問・一問一答)

金子 晃久 議員

質問



常総市では、高齢化や若者の流出により、年々空き家が増加

している。火災や倒壊など局所的な影響だけでなく、地域全体のオーラの低下を招きかねない。

様々な危険性がある空き家に対し、民地のため行政が対応することが難しいのが現状である。現在、市内の空き家の件数はどれくらいあるか。また、市民からの苦情や要望にはどのようなものがあるか。

茨城県内で初めて牛久市が空き家条例を制定し、周辺自治体でも条例制定の動きが見られる。常総市でも早急に取り組む必要があると考えるが、市の考えは。

答弁(市民生活部長)

空き家の件数は把握していないのが現状である。苦情や要望は、今年に入って既に5件あり、建物の傾きや草木の繁茂といったようなもので、所有者に適切な措置をお願いしている。市としても条例の制定が必要であると考え、近隣の情報を収集し、課題等を精査、検討している段階である。本年度中のできる限り早い時期に条例案を議会に上程できるように取り組んでいく。

質問

5件の苦情、要望は同じところなのか。

答弁(安全安心課長)

内容は市内それぞれで、生活環境の悪化による要望、倉庫が倒れそうといった要望などで、

現地を調査し、所有者に至急対応するよう指導している。

質問

市内各地で5件とのことだが、実際はもっとあるのではないかと。空き家の問題が発生してもおかしくなく、早急に取り組む問題なのではないか。この5件という数字ではなく、その背後には問題とならなかつた様々な空き家の問題があると認識しているため、早急に条例制定に取り組むよう要望する。

(その他の質問)

○「ふるさと納税」について尋ねる

○当市のペーパーレス化への取り組みについて尋ねる



道の駅構想と特区について(総括質問)

中島 亨一 議員

質問



水海道地区はかつて県内でも有数の商都であったが、現在そ